

学生だからこそ、 伝えられる魅力がある！

木曾銀河学校の同窓生らがNPO法人 「サイエンス・ステーション」を発足

文◎藤原英明 (NPO法人 Science Station 理事/東京大学4年)



今年5月に木曾観測所を舞台にして行われた「星の教室」での一コマ。「宇宙年齢を求める」という実習で、高校生に対して指導した。

今年3月、私たちは Science Station (以下SS) というNPO 法人を発足させた。ひと言で言え ば科学の教育普及を行う団体だ。 似たような目的の団体は他にもい くつかありそうだが、SSの特徴 は、①科学の楽しさ(と厳しさ) を知った経験を持つ学生が活動の 主体となる。②先端科学の現場に ある研究者や施設の協力を得るこ とで生きた科学の姿を伝える場を 提供することが可能、という点だ。

このSS、もともと東大木曾 観測所が毎年開催している高校生 向け天文学研究セミナー「銀河学 校」がきっかけだった。銀河学校 卒業生の中には、後に大学で天文 学を専攻し、研究者を目指す者や、

さらには、後の銀河学校を自主的 に手伝うようになった者も現れた (私もその一人)。そんな中、「自分 が銀河学校を通じて知ったよう な科学の魅力を多くの人に伝えたい」という思いが熟成し、私たち を突き動かした。そして今年、東 大天文学教育研究センター長で前 木曾観測所長である吉井謙教授ら の指導の下、NPO法人としての SSを立ち上げるに至った。NPO 法人にすることで、これまで個人 ベースで行ってきた活動を組織 的なものにし、より多くの人に私 たちの活動や科学への思いを知っ てもらおうと考えたのだ。

**銀河学校卒業生を
中心とした
多数の学生・院生**

**東京大学などの
最前線の研究者や
研究施設の協力**

**フレキシブルな
運用体制**

**中・高校生を中心とした多くの人に
本物のサイエンスを！**

SSの活動の主体は学生だ。学 業との両立は確かに楽ではない。し かし、自分の学業に閉じこもり がちな学生時代に学外で教育に携 われるこの活動は、教えることの 難しさを知り、さらには自分自身 を見つめなおす良い機会である。 そんな意味でも、多くの学生に参 加してほしいし、多くの人にこの

SSを「利用」していただきたい。 「出前授業」の依頼は、随時受け 付けている。その他の活動にも注 目していただければと思う。 「実際に科学の謎に挑んでいる 若者だからこそ、伝えられる魅力 がある！」そんな思いを胸に、私 たちは科学教育への決意を固め、 いま、駅を出発した。

連絡先 ■ NPO 法人 “Science Station” 事務局
〒181-0015 東京都三鷹市大沢 2-21-1 東京大学天文学教育研究センター内 TEL 0422-34-5027
Eメール ynakamur@mtk.ioa.s.u.tokyo.ac.jp ホームページ <http://www.sciencestation.jp/>